

# 阿蘇山火口における避難施設整備

5か年加速化対策

国土強靱化

災害時に効果が見込まれる事例

NATIONAL RESILIENCE

概要：阿蘇山火口の来訪者の安全を確保するため避難経路となる道路を改修し、併せて二次避難施設を整備した。

対策名：5 自然公園施設等に関する対策 <5か年加速化対策> 【環境省】

■ 実施主体：熊本県阿蘇市

■ 実施場所：熊本県阿蘇市

■ 事業概要：インバウンドの増加等により阿蘇山火口の来訪者は増加している。(令和5年度来訪者数70万人) 5か年加速化対策として自然公園等施設の防災機能の強化等の取組を行っており、地震・噴火等の発災時の来訪者の安全を確保するため、避難経路となる道路を改修し、併せて二次避難施設\*を整備した。

\*地震、噴火、落雷等の緊急時に、火口近傍の退避壕(コンクリート製のシェルター)を一次避難施設とし、その後、安全に下山するまでの一定時間を過ごす施設として二次避難施設を設置している。

■ 事業費：4億円

主な事業	実施内容	事業費	実施期間
阿蘇山上線(車道)整備事業	車道整備 二次避難施設整備	約4億円	R2~R5
うち5か年加速化対策(加速化・深化分)	車道整備 二次避難施設整備	約3億円	R2~R5

■ 想定している災害、効果見込み：

平成28年熊本地震では、阿蘇地域は震度6弱~6強の強い揺れに見舞われ、山地崩壊や道路不通が多数生じた。

南海トラフ地震においても阿蘇市の最大想定震度は6弱とされており、熊本地震同様の被害が生じるおそれがあるが、避難施設の整備により来訪者の安全が確保される見込み。

二次避難施設は、平時は来訪者の休憩所・救護施設として活用され、山上利用の快適さの向上にも貢献している。



二次避難施設 竣工

計画	実績	進捗率
15件	11件	73.3%

阿蘇くじゅう国立公園(阿蘇地域)における5か年加速化対策実施状況



二次避難施設の外観  
右側のコンクリート構造物は噴火から施設を守る防護壁